

2022年4月18日

報道関係者各位

FujisawaSST 協議会

Fujisawa サステイナブル・スマートタウンに  
まちな新たな機能 アクティブシニア向けレジデンス着工  
～超高齢社会の課題解決を通じた持続可能なまちづくりモデルを進化～

FujisawaSST 協議会（代表幹事：パナソニックグループ）は、Fujisawa サステイナブル・スマートタウン（以下、Fujisawa SST）に、子どもからシニアまで、多世代が共生するまちづくりを見据えて、健康で自立した生活をおくる方々を対象とするアクティブシニア向けレジデンス「（仮称）パークウェルステイト湘南藤沢計画」を着工いたしましたのでお知らせいたします。

本物件は、FujisawaSST 協議会に参画する三井不動産レジデンシャル株式会社（本社：東京都中央区代表取締役社長：嘉村 徹）により事業を推進し、三井不動産レジデンシャルウェルネス株式会社が運営を担います。

パークウェルステイトは、人生 100 年時代における、自立した元気なシニアの方々が新たなライフステージを生き活きと過ごしていただく「シニアのためのサービスレジデンス」※1です。

FujisawaSST 協議会では、超高齢社会の課題解決を目指す民間主導・多世代共生型の地域包括ケアの実現を通じ、持続可能なまちづくりモデルの更なる進化を目指します。

2030 年、日本における高齢化率は 31.8%と、国民の約 3 人に 1 人が 65 歳以上の高齢者となる見込み※2であり、シニアが健康でいきいきと暮らせる超高齢社会の構築が早急に求められています。

Fujisawa SST は、“生きるエネルギーがうまれる街。”というコンセプトをもとに、社会・地域課題を捉えながら、街に関わる“まち親”※3との共創活動を通じ、サステイナブルに進化し続けるまちづくりに取り組んできました。

三井不動産レジデンシャル株式会社は、Fujisawa SST 内における戸建住宅の提供を通じて、これまでにも暮らしに寄り添った新たなライフスタイル提案を行ってきました。ライフスタイルの多様化や少子高齢化の進行によって本格的な人口減少を迎えようとしている中、人々の多様なライフステージに応え続け、時の深まりとともに、潤うすまいとくらしを提供していきます。

FujisawaSST 協議会は、本物件と連携し、人々の多様なライフスタイルに応えられる街になるとともに、超高齢社会という課題を住民・企業・行政・大学との共創によって解決し、多世代にわたって心身ともに健康で安心なくらしを目指します。

参考）～神奈川県下初、Fujisawa サステイナブル・スマートタウンに「三井のシニアサービスレジデンス」～第 6 弾「（仮称）パークウェルステイト湘南藤沢計画（地上 14 階、566 室）」着工 BELS（建築物省エネルギー性能表示制度）に基づく評価にて「ZEB

Oriented」認証取得／2024 年秋開業予定（[https://www.mfr.co.jp/company/news/2022/0418\\_01/](https://www.mfr.co.jp/company/news/2022/0418_01/)）

※1「シニアのためのサービスレジデンス」とは、お元気な高齢者の方々に、より自分らしい豊かなくらしを実現していただくことを目指し、三井不動産グループが提案する新しいすまいのカタチです。原則、入居時自立、入居時年齢 60 歳以上としております。

※2 厚生労働白書（20）より引用

※3 街をサステイナブルに進化させていく街の住人、企業、周辺地域や街で働く人のこと